

# 第3学年 学びのカテゴリー「花」



3年1組は、昨年度学んだ「感情（愛情）をもって育てることの大切さ」をもとに、「花でみんなを明るく元気にしたい」という願いをもち、花の栽培や花壇の整備、花を生かした活動を行ってきた。様々な問題を乗り越え、自分が仲間と共に咲かせた花を多くの仲間に見てもらい、喜んでもらうことができたと感じている。「もっと笑顔にしたい」と考え、そのための活動を計画したり、実際に準備を進めたりしている。

3年2組は、「フラワーシャイン」（花で輝く）を合言葉に、全校のみんなに花を好きになってもらい、笑顔になってほしいという願いをもって、花の栽培を行ってきた。花壇に繰り返し通う中で、花が成長するために必要な物や、仲間が見に来てくれるために何をすべきかを話し合い、夏の花壇づくりに取り組んだ。児童が花について調べたり観察したりしたことをもとに生まれた、「やってみたい」ことの理由に目を向け、児童が主体的に花に関わり続けることを大切にしている。



岩田 尚之  
下川 舞子  
中村 幸智

3年1組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：花（全105時間）

第3学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		花の栽培を通して出会った問いをもとに、自分や仲間が幸せに生きるために自分にできることを考え、やりきることができるようにする。									
	(2) 関係構築力に関わって		花の栽培を通して、仲間の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを相手や目的を意識して伝えたりしながら、ジレンマやエラーに対する互いに納得できる考えを生み出し、活動することができるようにする。									
	(3) 貢献する人間性に関わって		花の栽培や様々な人との触れ合いを通して、自分の長所に気付き、自分や仲間を幸せにする方法を考え、仲間と共に行動しようとする。									
カテゴリー設定の理由	2年生では、野菜栽培でトライアル&エラーを繰り返し、願いをもちながら仲間と共に活動することのよさを味わってきた。3年生では、花の栽培を通して自分の願いだけではなく、他者の考えを受容しながら活動を進めることを大切に、人のためになる経験を積むとともに、自分や仲間を幸せにする方法について探究していく。これまでの学びの過程とつながりをもちつつ、他者や自然についてより理解を深めることができ、児童の自己実現に向かうために必要な資質・能力を効果的に育むことができると考え、カテゴリーを「花」と設定した。											
学びの基盤となる道徳的諸価値	個性の伸長・希望と勇気、努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ・自然愛護											
学びを構成する要素	自然 植物 人 仲間 全校 命 命をつなぐ 願い 幸せ 喜び 貢献 働く											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名(時数)	「どうする!?学校の花壇」(48時間)					「みんなを笑顔にするために」(40時間)					「次へつなぐ 私たちの花壇や思い」(17時間)	
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度の学びを振り返る。</li> <li>○今年度の願いを考え、交流する。</li> <li>○どんな花壇にしたいか考え、計画を立てる。</li> <li>○他学年の仲間や専門家と交流し、計画を見直す。</li> <li>○花壇に植える花を育てる。</li> <li>○昨年度の花をどうするかを考え、活動を進める。</li> <li>○育てた花を使って花壇を整備する。</li> <li>○花壇を全校に紹介する活動を計画し、実行する。</li> <li>○これまでの活動を振り返り、成果や課題を明らかにする。</li> </ul>		花夏の前世話を計画し、実行できたことをもとに	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休み前や夏休み中の活動を振り返り、今後の見通しをもつ。</li> <li>○花壇や花、学校生活に対する他学年の意識を調査する。</li> <li>○花で仲間を笑顔にする活動を計画し、実行する。                         <ul style="list-style-type: none"> <li>●イベントチーム(仮)</li> <li>●グズチーム(仮)</li> <li>●あいさつチーム(仮)</li> </ul> </li> <li>○活動後の他学年の意識を調査する。</li> <li>○4年生、環境部、外部の専門家(農林の学生、花屋等)と「花で人を笑顔にするってどういうこと?(仮)」について対話し、これからの活動を考える。</li> <li>○仲間を笑顔にするための活動を計画し、実行する。</li> <li>○活動後の他学年の意識を調査する。</li> <li>○これまでの活動の成果と課題を考える。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの取組を振り返り、大切にできたことを確かめる。</li> <li>○来年度の3年生のために自分たちにできることを考え、これまでの取組や思いを形にしてまとめ、伝える活動を構想する。</li> <li>○これまでの活動を振り返り、「花が自分たちにとってどんなものか」を考え、これまでの自分の学びや変化、成長を見つめる。</li> <li>○これまでの活動に対する思いをまとめ、引継ぎ活動を計画する。</li> <li>○計画をもとに引継ぎ活動を実行する。</li> <li>○これまでの取組を振り返り、自分の生き方につながるものを確かめる。</li> </ul>			
想定される●ジレンマ■エラー【道徳的諸価値】	<ul style="list-style-type: none"> <li>■計画したことをやろうと思っても、全員で取り組むことが難しい。</li> <li>■何度も話し合い、改善しようとしてもうまく進めることができない。</li> <li>●人のためと思って活動していたことが、人のためにならず、嫌な思いをさせてしまった。</li> <li>●やることに意味を感じるが、少しでも嫌な思いをする人がいるから今後の活動をどうしたらよいのだろう。</li> </ul> 【努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労・よりよい学校生活・生命の尊さなど】			<ul style="list-style-type: none"> <li>■自分がよいと思って伝えたことが、仲間が他学年の仲間には伝わらない。</li> <li>●自分がやりたいと思ったことと、全校の仲間が思っていることに違いがあるな。どうすればよいのだろうか。</li> <li>●どこまで全校の仲間の声を計画に受け入れたらよいのだろうか。</li> </ul> 【努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労・よりよい学校生活・生命の尊さなど】					<ul style="list-style-type: none"> <li>■2年生が本当に知りたいことは何だろう。</li> <li>■自分たちが4月に悩んだように、次の3年生も花壇の花をどうするかを考えることになると思う。だとすると、3月末に花壇の花を全て無くしてしまった方がよいのだろうか。</li> </ul> 【個性の伸長・希望と勇気・相互理解、寛容・生命の尊さなど】			
人材活用施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I部の仲間</li> <li>・学校の先生</li> <li>・園芸店の人</li> <li>・岐阜市役所の人</li> <li>・家族</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・I部・前期課程・環境部</li> <li>・学校の先生</li> <li>・岐阜農林高等学校の園芸科</li> <li>・花に関わる仕事をしている人</li> <li>・家族</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生</li> <li>・卒業する9年生</li> <li>・新入生</li> <li>・家族</li> </ul>			
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：もっと知りたい、友達のこと(話す・聞く)</li> <li>・社会：学校のまわりの様子</li> <li>・算数：棒グラフ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：山小屋で三日間過ごすならはんで意見をまとめよう(話す・聞く) 仕事の工夫見つけたよ</li> <li>・社会：岐阜市の様子</li> <li>・算数：大きな数 円と球</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：伝わる言葉で表そう(書く)</li> </ul>			

3年1組 単元シート		本単元の目標		
		問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
<b>単元名</b> みんなを笑顔にするために (40)		自分の願いを実現させる中で出合った問題について探究したり、自分にできることを実行したりして、納得がいくまでやりきることができるようにする。	自分の願いを実現するために、目的を意識して自分の考えを伝えたり仲間や専門家の人の思いや考えを肯定的に聞いたりして、互いに納得できる考えや方法を見だし活動できるようにする。	仲間や専門家、様々な立場や年齢の人との関わりを通して、相手の言葉や変化に喜びを感じたり、まわりの誰かを喜ばせようと行動したりする態度を養う。
<b>活動の計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏休み前や夏休み中の活動を振り返る。</li> <li>○花壇や花、学校生活に対する他学年の意識を調査する。</li> <li>○自分の願いを確かめ、今後の活動の見通しをもつ。(4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○花で仲間を笑顔にする活動を計画し、実行する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>●イベントチーム (仮)</li> <li>●グッズチーム (仮)</li> <li>●あいさつチーム (仮)</li> </ul> </li> <li>○活動後の他学年の意識を調査する。</li> <li>○これまでの活動の成果と課題を振り返る(8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○4年生、環境部、外部の専門家(岐阜農林高校の学生、花に関わる仕事をしている人)と「花で人を笑顔にするってどういうこと？(仮)」について対話し、これからの活動を考える。</li> <li>○仲間を笑顔にするための活動を計画し、実行する。</li> <li>○活動後の他学年の意識を調査する。(23)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの活動の成果と課題を考える。</li> <li>○「花が自分たちにとってどんなものか」について考え、これまでの自分の学びや変化、成長を見つめる。</li> <li>○花壇を整備する。(5)</li> </ul>
<b>加筆修正欄</b>				
<b>想定される姿</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいに咲いている花たちを見てもらいたい。</li> <li>・もっとみんなを笑顔にするためにはどんな活動をしたらいいのかな。</li> <li>・花でみんなを明るく元気にしてあげたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の時間や昼休みにイベントを開催したら多くの人に来てくれたよ。マリーゴールドの種をあげたり、一緒に種まきをしたりしたら喜んでくれたよ。</li> <li>・みんなにアンケートしてみると、活動する前と後で大きな変化はなかったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人を明るく元気にしたり喜ばせたりするには、どうしたらいいんだろう。</li> <li>・4年生や環境部、農林高校のお兄さんお姉さんはどういう思いや考えで活動しているのかな。</li> <li>・もう一回活動を計画して、みんなを明るく元気にするための活動を計画しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの方が花壇や花を見てくれたし、これまでの活動を通して、縦割り集団の仲間だけじゃなく、その他の多くの人とも仲良くなることができたよ。</li> <li>・途中、うまくいかないこともあったけど、仲間と力を合わせて最後まで頑張ることができたよ。</li> </ul>
<b>実際の姿</b>				
<b>■エラー</b> <b>●ジレンマ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●じっくり花を見てほしいけど、見てくれた人が朝の活動に遅れてしまうのはまずい！どうしたらいいのかな。</li> <li>●みんなと協力するのはいいけど、もともとやりたかったこととは違うものになってきちゃっている。</li> <li>■喜んでくれると思ってやってみたけど、そんなに喜んでくれていないな。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●病気になってしまった葉は切るべきなんだけど、どこから切っていいのかな。せっかく育てたのに、切ってしまうのはかわいそうだな。</li> <li>■多くの人が見ているけど、笑顔になったり明るく元気になったりしてくれたかは、どうやって確かめるといいのかな。</li> </ul>	

3年1組 本時案

(1) 目標

これまでの対話（他学年や専門家）や活動を振り返る活動を通して、仲間の考えを肯定的に聞いたり自分の意見を話したりしながら相手を笑顔にするために大切なことを考え、今後の活動計画をしたり、その準備したりすることができる。（関係構築力）

(2) 道徳的価値判断に関わって

相手を喜ばせるために必要なことについて考え、自分本位な活動から相手意識を考えた活動の在り方について議論する。（集団生活の充実）

本時（27/40）

活動内容（○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言）	○教師の手立てと見届け						
<div data-bbox="168 518 1469 571" style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>これまでの対話を通してあなたが大切にしていきたいと思ったことは何か？</p> </div> <p><b>1 本時の課題を確認し、グループごとの考えを発表する</b></p> <table border="1" data-bbox="168 630 1469 949"> <tr> <td data-bbox="168 630 492 949"> <p><b>【相手意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花屋さんは贈る人の気持ちやもらった人の喜ぶ様子を想像して作っているんだ。相手がどう思うとかそういうことも考えたり調べたりしてから活動を考えるともっと喜んでもらえるかもしれない。</li> </ul> </td> <td data-bbox="492 630 817 949"> <p><b>【自分の達成感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4年生の人は、花を咲かせたときの喜びについて教えてくれたよ。やっぱりできた時の達成感を一緒に味わうことが大切なんじゃないかな。そのためにはどんな活動がいいのかな。</li> </ul> </td> <td data-bbox="817 630 1142 949"> <p><b>【活動の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フラワーコーディネーターの人が普段作られている花やその飾りはとてもきれいで、見た人が喜んでいたらもっとみんなを驚かせるようなものやイベントをすることが大切なんじゃないかな。</li> </ul> </td> <td data-bbox="1142 630 1469 949"> <p><b>【活動の継続】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境部の人は、一度の活動も大切だけど、その活動が続くことでさらに学校全体が明るくなっていくって話してくれたから、続けることも大切だと思うよ。それを当たり前にしていくにはどうしたらいいのかな。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p><b>2 全体での対話をもとに、自分が大切にしたいことを考え、今後の活動を進める</b></p> <table border="1" data-bbox="168 1029 1469 1252"> <tr> <td data-bbox="168 1029 817 1252"> <p><b>【相手意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がしてあげたいことをするのは大切だけど、相手がどう思っているかについても考えたり調べたりすることでよりその人に喜んでもらえる活動にすることができると思う。だから、まず2年生にインタビューしてどんな要望があるのかを見付けるところから始めたいな。</li> </ul> </td> <td data-bbox="817 1029 1469 1252"> <p><b>【自分の達成感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの活動や農林高校のお兄さんとの話から私が楽しかったことをI部のみんなにも感じてもらうことがいいと思った。花の種を一緒にまいたり、花がさくのを毎日見守ったりしている時が一番ワクワクしていたからそれを活動に生かしてみようかな。</li> </ul> </td> </tr> </table> <p><b>3 本時の学びを振り返り、今考えていることを書く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔にするために自分のやってあげたいことやできることをするのは、これまでもやってきたけど、今日の対話を通して、もっと相手がやりたいと思っていることを考えたり調べたりすることもしていきたいと感じた。もっと花を見てもらったり一緒に遊んだりすることで自分も相手も楽しくなるような活動をしていきたいと思う。</li> </ul>	<p><b>【相手意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花屋さんは贈る人の気持ちやもらった人の喜ぶ様子を想像して作っているんだ。相手がどう思うとかそういうことも考えたり調べたりしてから活動を考えるともっと喜んでもらえるかもしれない。</li> </ul>	<p><b>【自分の達成感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4年生の人は、花を咲かせたときの喜びについて教えてくれたよ。やっぱりできた時の達成感を一緒に味わうことが大切なんじゃないかな。そのためにはどんな活動がいいのかな。</li> </ul>	<p><b>【活動の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フラワーコーディネーターの人が普段作られている花やその飾りはとてもきれいで、見た人が喜んでいたらもっとみんなを驚かせるようなものやイベントをすることが大切なんじゃないかな。</li> </ul>	<p><b>【活動の継続】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境部の人は、一度の活動も大切だけど、その活動が続くことでさらに学校全体が明るくなっていくって話してくれたから、続けることも大切だと思うよ。それを当たり前にしていくにはどうしたらいいのかな。</li> </ul>	<p><b>【相手意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がしてあげたいことをするのは大切だけど、相手がどう思っているかについても考えたり調べたりすることでよりその人に喜んでもらえる活動にすることができると思う。だから、まず2年生にインタビューしてどんな要望があるのかを見付けるところから始めたいな。</li> </ul>	<p><b>【自分の達成感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの活動や農林高校のお兄さんとの話から私が楽しかったことをI部のみんなにも感じてもらうことがいいと思った。花の種を一緒にまいたり、花がさくのを毎日見守ったりしている時が一番ワクワクしていたからそれを活動に生かしてみようかな。</li> </ul>	<p>○前時までにグループごとでの対話を行い、本時の目標に迫るための時間を確保する。</p> <p>○これまでの活動や対話をもとに問いやジレンマを共有し、切実感をもって対話を行えるように展開に合わせて問いかける。</p> <p>○発表では、仲間の考えを肯定的に聞くことを促し、気になったことを互いに質問し合うことで、「大切にしたいこと」の中にあるそれぞれの「価値観」を見だし、その後の対話や活動につなげる。</p> <p>○下記の発問を通して、「自分がしたいことをする」から「相手が求めていることをする」について考えを広げられるようにする。（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>喜んでくれると思ってやってみたけど、アンケートの結果を見ると、効果が見られなかったのはどうしてだろう。</li> <li>下記の発問を通して、自分の生活体験や経験を問うことで、抽象的な言葉や概念を理解できるようにする。</li> <li>これまでの生活で自分がうれしかったことは、いつ、どんなことをしてもらった時でしたか。</li> </ul> <div data-bbox="1512 1157 2072 1428" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b></p> <p>テーマについて対話したことをもとに、人を笑顔にするために必要なもの（こと）について自分の考えを発表したり、仲間の考えを肯定的に聞き、自分の考えに生かそうとしたりしている。</p> <p style="text-align: right;">（関係構築力）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対話（全体・小集団）での発言の様子やワークシートの記述から見届ける。</li> </ul> </div>
<p><b>【相手意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花屋さんは贈る人の気持ちやもらった人の喜ぶ様子を想像して作っているんだ。相手がどう思うとかそういうことも考えたり調べたりしてから活動を考えるともっと喜んでもらえるかもしれない。</li> </ul>	<p><b>【自分の達成感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4年生の人は、花を咲かせたときの喜びについて教えてくれたよ。やっぱりできた時の達成感を一緒に味わうことが大切なんじゃないかな。そのためにはどんな活動がいいのかな。</li> </ul>	<p><b>【活動の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フラワーコーディネーターの人が普段作られている花やその飾りはとてもきれいで、見た人が喜んでいたらもっとみんなを驚かせるようなものやイベントをすることが大切なんじゃないかな。</li> </ul>	<p><b>【活動の継続】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境部の人は、一度の活動も大切だけど、その活動が続くことでさらに学校全体が明るくなっていくって話してくれたから、続けることも大切だと思うよ。それを当たり前にしていくにはどうしたらいいのかな。</li> </ul>				
<p><b>【相手意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分がしてあげたいことをするのは大切だけど、相手がどう思っているかについても考えたり調べたりすることでよりその人に喜んでもらえる活動にすることができると思う。だから、まず2年生にインタビューしてどんな要望があるのかを見付けるところから始めたいな。</li> </ul>	<p><b>【自分の達成感】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの活動や農林高校のお兄さんとの話から私が楽しかったことをI部のみんなにも感じてもらうことがいいと思った。花の種を一緒にまいたり、花がさくのを毎日見守ったりしている時が一番ワクワクしていたからそれを活動に生かしてみようかな。</li> </ul>						

3年2組

年間指導計画

「学びの 카테고리」：花（全105時間）

第3学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		花の栽培を通して出会った問いをもとに、自分や仲間が幸せに生きるために自分にできることを考え、やりきることができるようにする。									
	(2) 関係構築力に関わって		花の栽培を通して、仲間の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを相手や目的を意識して伝えたりしながら、ジレンマやエラーに対する互いに納得できる考えを生み出し、活動することができるようにする。									
	(3) 貢献する人間性に関わって		花の栽培や様々な人との触れ合いを通して、自分の長所に気づき、自分や仲間を幸せにする方法を考え、仲間と共に行動しようとする。									
カテゴリー設定の理由	2年生では、野菜栽培でトライアル&エラーを繰り返し、願いをもちながら仲間と共に活動することのよさを味わってきた。3年生では、花の栽培を通して自分の願いだけでなく、他者の考えを受容しながら活動を進めることを大切に、人のためになる経験を積むとともに、自分や仲間を幸せにする方法について探究していく。これまでの学びの過程とつながりをもちつつ、他者や自然についてより理解を深めることができ、児童の自己実現に向かうために必要な資質・能力を効果的に育むことができると考え、カテゴリーを「花」と設定した。											
学びの基盤となる道徳的諸価値	個性の伸長・希望と勇気、努力と強い意志・相互理解、寛容・勤労、公共の精神・よりよい学校生活、集団生活の充実・生命の尊さ・自然愛護											
学びを構成する要素	自然 植物 人 仲間 全校 命 命をつなぐ 願い 幸せ 喜び 貢献 働く											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名(時数)	フラワーシャイン ～花を大切に育てよう～ (48時間)					フラワーシャイン ～花で人を笑顔にしよう～ (40時間)					フラワーシャイン ～次へつなぐ 私たちの花壇や思い～ (17時間)	
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○花壇にある去年の3年生の花をどうするかを考える。</li> <li>○花を大切に育てるための方法を考え、実行する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・iPadや図鑑を使って、夏に咲く花や、花の育て方などを調べる。</li> <li>・必要な道具を準備する。</li> <li>・ポットに種を蒔き、大切に育てる。</li> <li>・花壇を整備する。</li> </ul> </li> <li>○活動で生まれたジレンマやエラーと向き合い、学級の仲間と対話し、考える。</li> <li>○自分たちの花壇(夏)をつくるための計画を立て、実行する。</li> <li>○これまでの歩みをもとに、自分たちの活動の願いを明確にする。</li> </ul>			花夏の前世話をに計取りし組、んで行きすたことをもとに	<ul style="list-style-type: none"> <li>○花壇の様子を確認、これまでの取組の成果や課題を確認する。</li> <li>○これまでの活動で生まれたジレンマやエラーと向き合い、学級の仲間と対話し、考える。</li> <li>○秋冬に向けての花壇をつくるための計画を立てる。</li> <li>○岐阜農林高校を見学し、「人の幸せ」を考え、園芸科学科の生徒や先生方から意見をもらい、秋冬の花壇の計画を再検討する。</li> <li>○計画をもとに、秋冬の花壇づくりを実行する。</li> <li>○秋冬の花壇づくりを実行する一方で、自分たちの花との向き合い方について振り返る。</li> <li>○願いの実現に向けて、花壇に他学年を招待し、花壇の花や自分たちの思いを伝える活動を計画する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>○完成した花壇を放送で紹介したり花壇に招待したりすることで発信し、全校の仲間の思いを確認する。</li> <li>○これまでの取組を振り返り、大切にしてきたことを確かめる。</li> <li>○「人の幸せ」を考え、幸せにする相手や場面を具体的にイメージした上で、春に向けての花壇を構想する。</li> <li>○次の3年生のことを考えたときに、自分たちにできることを考え、これまでの取組や思いを形にしてまとめ、伝える活動を構想する。</li> <li>○活動で生まれたジレンマやエラーと向き合い、学級の仲間と対話し、考える。</li> <li>○これまでの活動を振り返るときに、「花とは自分たちにとってどんなものか」を考え、花や花の命についての思いを確かめる。</li> <li>○「人の幸せ」「花の命」に対する思いをまとめ、2年生に伝える活動を実行する。</li> <li>○これまでの取組を振り返り、自分の生き方につながるものを確かめる。</li> </ul>		
想定される●ジレンマ■エラー【道徳的諸価値】	<ul style="list-style-type: none"> <li>■計画したことをやろうと思っても、全員で取り組むことが難しい。</li> <li>■何度も話し合い、改善しようとしてもうまく進めることができない。</li> <li>●前の学年が育てていた花は、どうすればよいのだろうか。</li> <li>●水やりをしているのに、花が思ったように育たないのは、どうしてなんだろう。</li> </ul> 【・努力と強い意志 ・相互理解、寛容 ・勤労、公共の精神 ・よりよい学校生活、集団生活の充実 ・自然愛護など】				<ul style="list-style-type: none"> <li>■思っていたように花が育たず、花壇が寂しくなってしまった。</li> <li>■秋冬の花壇は、夏の花壇よりいいものにしたけれど、どこをどう改善すればよいかわからない。</li> <li>●自分がやりたいと思ったことと、仲間が思っていることに違いがあって、どうすればよいのだろうか。</li> <li>●もっとたくさんの人に花を見てもらいたい。自分のアイデアだけでなく、仲間の考えや思いも聞きたい。</li> </ul> 【・努力と強い意志 ・相互理解、寛容 ・勤労、公共の精神 ・よりよい学校生活、集団生活の充実 ・生命の尊さ ・自然愛護など】					<ul style="list-style-type: none"> <li>●2年生が本当に知りたいことは何だろう。</li> <li>●自分たちが4月に悩んだように、次の3年生も花壇の花をどうするかを考えることになると思う。だとすると、3月末に花壇の花を全て無くしてしまった方がよいのだろうか。</li> </ul> 【・個性の伸長 ・希望と勇気 ・相互理解、寛容 ・生命の尊さ ・自然愛護など】		
人材活用施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の仲間</li> <li>・学校の先生</li> <li>・園芸店の人</li> <li>・家族</li> <li>・朝日小学生新聞(あいみよん愛の花プロジェクト)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校の仲間</li> <li>・学校の先生</li> <li>・園芸店の人</li> <li>・家族</li> <li>・岐阜農林高等学校園芸科学科</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生</li> <li>・9年生</li> <li>・新入生</li> <li>・家族</li> </ul>		
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：もっと知りたい、友達のこと(話す・聞く)</li> <li>・社会：学校のまわりの様子</li> <li>・算数：ほうグラフと表</li> <li>・理科：たねをまこう、どれくらい育ったかな、花がさいたよ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：山小屋で三日間過ごすなら ほんで意見をまとめよう(話す・聞く)</li> <li>・社会：市のような</li> <li>・算数：分数、長さ</li> <li>・理科：実ができたよ、太陽とかけを調べよう、太陽の光を調べよう</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語：伝わる言葉で表そう(書く)</li> </ul>			

3年2組 単元シート	本単元の目標		
	問題解決力	関係構築力	貢献する人間性
単元名 花で人を笑顔にしよう (40)	花で人を笑顔にするために自分にできることを考え、最後までやりきることができるようにする。	花で人を笑顔にするために、仲間の考えを肯定的に聞いたり自分の考えを相手や目的を意識して伝えたりしながら、ジレンマやエラーに対する互いに納得できる考えを生み出し、活動することができるようにする。	花の栽培や様々な人との触れ合いを通して、自分の長所に気付き、人を笑顔にする花壇にする方法を考え、仲間と共に行動しようとする態度を養う。

活動の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夏の花が咲いた学校の花壇を観察し、気付いたことを話し合う。</li> <li>○秋冬の花壇を、夏よりもきれいな花壇にするためには、どうすればよいか話し合う。</li> <li>○iPadや図鑑を使って、秋冬に咲く花や育て方を調べる。(6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校の花壇を整備し、秋冬の花を育てる準備をする。</li> <li>○種をまき、毎日大切に世話をする。</li> <li>○岐阜農林高等学校を見学し、夏の花壇づくりから生まれたジレンマやエラーについて、アドバイスをもらう。(14)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○秋冬の花壇づくりの計画が、「人を笑顔にする」ことにつながるのか話し合う。</li> <li>○願いの実現に向けて、秋冬の花壇づくりを実行する。</li> <li>○iPadや図鑑を使って、春に咲く花や育て方を調べる。(14)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○秋冬の花壇をたくさんの人に見てもらうために、花壇を紹介する活動（フェスティバル）を考え、内容を構想する。</li> <li>○秋冬の花壇を紹介する活動（フェスティバル）の準備をする。(6)</li> </ul>
加筆修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像していた花壇より、花が少なく寂しいな。秋冬の花壇は、もっと花を増やしたい。</li> <li>・秋冬は気温が低くなるから、寒さに強い花を育てないといけない。</li> <li>・まだ咲いている夏の花もある。枯れた夏の花の場所に、新しい秋冬の花を植えたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の花を育てたときのように、ポットや土を準備して種をまこう。花壇は、枯れた花や雑草を抜いて、秋冬の花を植え替える準備をしておこう。</li> <li>・夏の花は、うまく芽が出ない種もあった。専門の知識がある人に、どのように育てているか、気を付けていることは何かなどを聞いてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花は少ないより多い方がきれいだ。同じ種類の花をかためて植え替えたい。</li> <li>・花を植えたり水をやったりすることだけでなく、毎日花の様子を見ることが大切だ。枯れた花を摘み取ったり、雑草を抜いたりして、元気な花をみんなに見てもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育てている花の紹介をして、花に興味をもってもらえば、花を見に来てくれそう。</li> <li>・花の育て方や、花の特徴をまとめた花ブックを作りたいな。</li> <li>・押し花でしおりを作って、花を見に来てくれた人に配ったら、みんな喜んでくれそう。</li> </ul>
実際の姿				

<ul style="list-style-type: none"> <li>● ジレンマ</li> <li>■ エラー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 秋冬の花壇は、夏の花壇よりもいいものにしたいけど、どこをどう改善すればよいか分からない。</li> <li>■ 思っていたように花が育たず、花壇が寂しくなってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分がやりたいと思ったことと、仲間が思っていることに違いがあって、どうすればよいのだろう。</li> <li>● もっとたくさんの人に花を見てもらいたい。自分のアイデアだけでなく、仲間の考えや思いも聞きたい。</li> </ul>
---	--	--

3年2組 本時案

(1) 目標

秋冬の花壇づくりの計画が、「人を笑顔にする」という願いにつながっているのか話し合う活動を通して、花をよく観察して花の状態に合った世話を続けることで、人を喜ばせることができる花壇になることに気づき、秋冬の花壇づくりに生かそうとすることができる。(問題解決力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

栽培している身近な花を大切に育てることに関わって、「人を笑顔にする」花壇とはどんな花壇なのか話し合い、自分たちにできることを考える。(自然愛護)

本時 (22/40)

活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童生徒の発言)	○教師の手立てと見届け
<p><b>1 本時の課題を設定する</b>                      ○秋冬用にポットにまいた種が育ってきました。次に考えたいことは何ですか。                      ・花を花壇に植え替えたい。                      ・ポットだと花が窮屈そうだから、広い場所に移してあげたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>秋冬の花壇をどのようにするか、意見を出し合おう。</p> </div> <p><b>2 どんな秋冬の花壇にしたいか話し合う</b>                      ○秋冬の花壇を、どんな花壇にしたいですか。                      ・夏の花壇よりもたくさんの人が見てくれる花壇にしたい。                      ・夏の花壇は花の数が少なかったから、もっとたくさんの花を花壇に植え替えたい。                      ・岐阜農林高校の花壇は、同じ種類や同じ色の花が集められていて、きれいだったよ。真似したいな。                      ・夏の花壇のように、れんがで人が通れる道を作っておくと、みんなが花に近づいて見れるよ。</p> <p><b>3 どんな花壇だと「人を笑顔にする」ことができるのか話し合う</b>                      ○みんなの願いである「人を笑顔にする」花壇とは、どんな花壇ですか。                      ・花がきれいに咲いていると、見た人も笑顔になる。                      ・雑草が生えていたり、花が枯れていたりすると、逆に悲しい気持ちになる。花の栄養がいきわたる花壇だと花も元気に育って、見た人も嬉しくなるよ。                      ・岐阜農林高校の方が、植え替えた後も毎日花壇の様子を見ると言っていたよ。病気になったり枯れたりしないように花の状態に合ったお世話をすれば、花もきれいに咲き続けることができるね。</p> <p><b>4 本時の学びを振り返る</b>                      ○「人を笑顔にする」花壇をつくるために、大切だと思ったことや、これから実行しようと思ったことは何ですか。                      ・花壇や花をきれいな状態に保つために、毎日花を見に行きたい。                      ・花が元気じゃなかったら、見る人も笑顔になれないから、元気に花が咲き続けられるように、しっかりお世話をしたい。                      ・夏の花壇のときも、毎朝○○さんは花の様子を見に行っていたから、私も見習いたい。</p>	<p>○現在育てている秋冬用の花のポットやプランターを提示し、成長に合わせた環境で育てた方がよいことを想起できるようにする。</p> <p>○児童の発言を、夏の花壇と比べて「継続していく視点」、「改善していく視点」、「新しく取り入れる視点」に分け、整理してまとめる。</p> <p>○夏の花壇や岐阜農林高校の花壇の写真を提示し、秋冬に計画したい花壇をイメージしたり、比べて考えたりすることができるようにする。</p> <p>○全体で「願い」を確認し、現在の計画が「人を笑顔にする」花壇につながっているのかに着目して話し合いができるようにする。</p> <p>○「どんな花壇だと自分は笑顔になるのか。」と問い返し、花がどんな状態だと見る人も嬉しい気持ちになるのか、自分ごとで考えることができるようにする。</p> <p>○元気に咲いている花と、元気がない花の写真を見比べて、花への関わり方で花の状態が変わってしまうことに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>目標に迫った姿をどのように見届けるか</b>                      これまでの歩みをもとに、「人を笑顔にする」花壇とはどんな花壇なのか考え、秋冬の花壇の花にどう関わり続けるのかを、自分なりに表現している。(問題解決力)                      ・発言内容やワークシートの記述から見届ける。</p> </div>